

NPO 法人理科カリキュラムを考える会 2025 年度夏季シンポジウム
素朴概念を踏まえた授業作りに挑戦しよう
—英ヨーク大・素朴概念研究を参考に—

2025 年 6 月 29 日 (日) 13:00~18:00 【ハイブリッド開催】

会場でもオンラインからでも参加できます 申し込まれた方はシンポジウム終了後も事後視聴できます

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会 <https://rikakari.jp/>

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 309 室
東京都渋谷区代々木神園町 3-1 (オンラインからも参加できます)

対象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

参加費：一般 3,000 円 本会会員 2,000 円 学生 1,000 円 定員：対面 80 名+オンライン 120 名

申込み：右の URL または QR コードから申し込んでください <https://rikakari20250629.peatix.com>

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [rikakari.jimu\(at\)gmail.com](mailto:rikakari.jimu(at)gmail.com)



「授業で先生は教えたけれど、子どもには伝わっていない」この原因は、子どもなりに一定の理解(素朴概念・誤概念)があるのに、それとかけ離れた理解をさせるところにあります。**どんな素朴概念を子どもが持っているかの研究**は、日本でも世界でも取り組まれていますが、まだ先生には余り知られていません。

イギリスのヨーク大学では、11~16 歳(に加え新たに 7~11 歳)の年代での理科学習における素朴概念をリスト化し、それらに対してどう対応すれば効果的か等の教育研究の成果を **Best Evidence Science Teaching (BEST)**として、忙しい教員が気軽に研究に基づいた教材を利用できるようにしています。本会では、その開発を担うヨーク大学のお二人に本年 1 月、BEST 開発の経緯や利用方法などを含め、**イギリスの教育の目指す方向**について話していただきました。

その後、シンポ参加者等に呼びかけ、「自分の授業をより良く」「日本の理科教育をより良く」したいと **50 名を超える方々が協力を申し出て、BEST の分析・翻訳のグループを結成**。内容の分析と簡易翻訳を進め、たたき台段階になりました。

その中で、BEST を授業に使うには、どこから読み始めると短時間で分かるか、機械翻訳に対応していないところがあるかなど、使ってみたい方に紹介し、一緒に授業づくりを考えることが大切なことが見えてきました。

今回のシンポジウムでは、**翻訳内容・分析や利用上のノウハウを紹介**すると共に、それを活用したり、発展させたりする試みに挑戦した方の経験を聞き、**授業の中にどう取り込むことができるか**、日本のこれまでの研究をもとにした**日本版の BEST をどう構築するか**、等について議論したいと思います。

概要 6 月 29 日 (日) 12 時開場 13 時~18 時

————— 第 1 部(13:00~14:30) —————

「子どもの素朴概念・誤概念を使って、楽しく分かる授業に挑戦を」 滝川 洋二 (本会理事長)

「BEST を使った授業と評価—BEST の起源から考える」 大野 栄三 (北海道大学名誉教授)

————— 第 2 部(14:40~15:40) —————

化学・地学の概要 —BEST の構造や内容、使い方の紹介

化学分野 門倉 松雄 (本会理事)

地学分野 多賀 優 (龍谷大学農学部)

————— 第 3 部(15:50~17:20) —————

物理・生物・小学校の授業実践 (計画・報告) BEST を使って試してみた、こんな風に授業計画を作った

物理分野 伊藤 紀章 (北海道岩内高等学校)

生物分野 寺野 清明 (洛南高等学校・同附属中学校)

小学校 鍛冶 裕之 (函館市立美原小学校)

————— 第 4 部(17:20~18:00) —————

総合討論 「BEST を使って授業をどう変えるか、日本版 BEST をどう創るか」

リカ
カリ